

## 自転車新文化に関する認知度調査の結果について

### 1 調査目的

令和5年5月に策定した「第2次愛媛県自転車新文化推進計画」（平成31年3月「第1次計画」策定）に定める各種施策に対する県民の需要を把握し、反映させることで、更なる総合的・戦略的な施策展開を図るため。

### 2 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

### 3 調査期間

令和5年9月12日（火）～9月19日（火）

### 4 回答者数

400人（18～79歳の県内在住者）

### 5 概要

#### 【「自転車新文化」の認知度】

- ・「知っている（19.0%）」「内容は知らないが、聞いたことがある（28.0%）」となり、県民の47.0%が「自転車新文化」について認知している結果であった。
- ・一方、「知らない（53.0%）」となっており、引き続き自転車新文化の推進に取り組んでいく必要がある。

#### 【「自転車新文化」の更なる普及・拡大のための方策】

- ・「自転車利用者が安全・快適に通行できる自転車通行空間の整備（54.3%）」、「交通ルールの遵守やマナー向上による自転車の安全利用の普及・啓発（43.0%）」、「サイクリストの受入環境・おもてなし態勢の整備（40.8%）」、「女性、高齢者、子ども、障がい者などの幅広い層への自転車利用の普及・拡大（26.3%）」、「国内外へのプロモーション活動等による交流人口の拡大（20.5%）」、「自転車通学・通勤の促進による二酸化炭素排出削減等の環境問題への対応（17.8%）」、「自転車競技の振興や全国規模の各種大会等の誘致（10.0%）」となり、自転車に乗らない人にも影響がある自転車の安全利用に関する割合が多い結果となった。

#### 【通勤時の主な移動手段について】

- ・「鉄道（3.8%）」、「バス（1.5%）」、「自動車（53.3%）」、「自転車（13.8%）」、「バイク・原付（5.8%）」、「徒歩（5.0%）」であった。